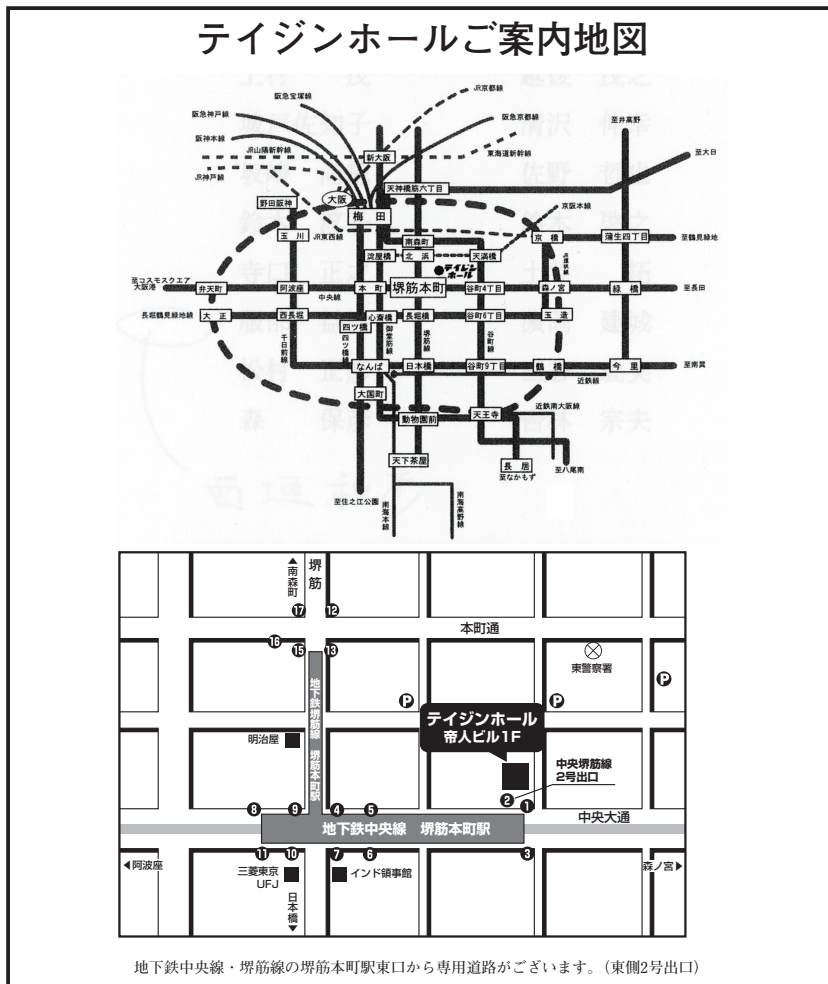


第35回 近畿川崎病研究会

日 時：2011年3月5日(土)
13:00~19:10

会 場：テイジンホール
大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第 35 回 会長

坂崎 尚徳

運営委員長

濱岡 建城

運営委員

石田 明人	上村 茂	越後 茂之	荻野廣太郎
片山 博視	萱谷 太	城戸佐知子	清沢 伸幸
小垣 滋豊	米田 正始	坂崎 尚徳	佐野 哲也
篠原 徹	清水 達雄	鈴木 淳子	鈴木 啓之
瀬戸 嗣郎	津田 悦子	寺口 正之	土井 拓
富田 安彦	中川 雅生	西垣 和彦	服部 益治
濱岡 建城	深谷 隆	松村 正彦	三谷 義英
水戸守寿洋	村上 洋介	森 保彦	吉澤 弘行
吉林 宗夫			

顧問

尾内善四郎	川崎 富作	北村惣一郎	横山 達郎
-------	-------	-------	-------

名誉会員

川島 康生	田村 時緒	森 忠三
-------	-------	------

事務局

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門内

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です
- (2) 参加費は1,000円です
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は3,000円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、5単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) 発表は、PCを用いた講演でのプレゼンテーションとなります。
- (2) 講演時間は、発表6分（討論4分）です。
- (3) ご発表予定時間の1時間前までに、USBメモリーを「データ受付」（ホール1階）にお持ちいただき、受付をお済ませください。
(動画を含む場合は、必ずご自身のパソコンをご持参ください)
- (4) USBメモリーには、ご発表データのみを入れてください。
- (5) ご発表データは、Windows、MachintoshともにPower Pointで作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。
Windows : X P、Vista、7
Machintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
Windows : Power Point 2003、2007、2010 に対応
Machintosh : Power Point 2004、2008、2011 に対応
- (8) ご使用になられるデータのバックアップを必ずお取りください。
- (9) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (10) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名 : 14 近畿.ppt
- (11) 講演終了後、舞台袖で、お預かりした USB メモリーやパソコンを返却いたします。
- (12) 講演内容は、Progress in Medicine 7月号（ライフ・サイエンス）に掲載する予定です。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします

【執筆要領】 400字原稿用紙で12枚以内（図表は別）

【原稿〆切】 平成22年5月1日（予定）

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 日村 昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶

13:00～13:05

第 35 回会長 坂崎 尚徳（兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科）

セッション I（急性期 1） 13:05～13:45

座長 瀬戸 嗣郎（市立岸和田市民病院 小児科）

1. ミルクアレルギーのため再燃との鑑別に苦慮した川崎病の乳児例

大津赤十字病院 小児科

野崎章仁 岩朝 徹 木村博子 倉田佳彦 中村直人
松林優子 樋口真司 壺井伯彦 赤杉和宏 近江弘一郎
伊吹将吾 伴由布子 今井 剛 廣田常夫

静岡県立こども病院 感染免疫アレルギー科

木村光明

2. 咽後膿瘍類似の所見を呈した川崎病について

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

田中麻希子 富田安彦 長井勇樹 米本大貴 吉田健司
岸本健治 清水滋太 宇都宮剛 田村卓也 岡藤郁夫
宇佐美郁哉 山川 勝 春田恒和

3. 肺炎を合併した川崎病の 1 例

和泉市立病院 小児科

坂東賢二 林 絵里 榎本 誠 石田 博 村上城子

4. 川崎病による心筋障害から心原性ショックをきたした 1 例

済生会滋賀県病院 小児科

岡山千尋 伊藤英介 西倉紀子

滋賀医科大学附属病院 小児科

吉田大輔 宗村純平 中川雅生

セッションⅡ（急性期２） 13:45～14:15

座長 服部 益治（兵庫医科大学 小児科）

5. 中枢神経系合併症を認めた川崎病の5例

広島市立広島市民病院 循環器小児科

石口由希子 鎌田政博 中野 諭 中川直美

6. 急性脳症を呈した川崎病の1例

市立豊中病院 小児科

渡辺陽和 猪瀬涼子 鈴木文子 木水友一 宮田憲二
土屋浩史 早島禎幸 川上展弘 吉川真紀子 茶山公祐
徳永康行 松岡太郎

7. 感音性難聴を合併した川崎病の1例

加古川市民病院 小児科

大西徳子 谷口裕章 西田浩輔 藤田花織 岡野真理子
小寺孝幸 中尻智史 波多野史子 小林光郎 渡邊愛可
上村裕保 海老名俊亮 親里嘉展 西山敦史 神岡一郎
湊川 誠 森沢 猛 足立昌夫 米谷昌彦

セッションⅢ（画像診断） 14:15～15:05

座長 鈴木 淳子（東京通信病院 小児科）

8. 心臓MRIの当院でのプロトコール

—新MRI装置と32ch coilにおいて—

東京通信病院 小児科

北爪 勉

9. 冠動脈超音波検査の標準化

N T T東日本札幌病院 小児科

布施茂登

10. 川崎病既往症例における2点間自由ストレインを用いた頸動脈壁運動の特性

金沢医科大学 小児科

玉貫啓太 小栗真人 秋田千里 北岡千佳 中村常之

犀川 太

11. MDCTを追跡に用いている16歳で発症した川崎病の1例

近畿大学医学部 小児科学教室

丸谷 怜 篠原 徹 竹村 司

12. 川崎病後遠隔期におけるMDCTを用いた冠動脈石灰化内膜／非石灰化内膜の同定の試み：軽度の冠動脈病変（一過性拡大例，退縮例，拡大例）

三重大学大学院 小児科学

大橋啓之 三谷義英 大槻祥一郎 淀谷典子 澤田博文

早川豪俊 駒田美弘

三重大学大学院 放射線医学非侵襲診断治療学

佐久間肇 北川覚也

【特別講演 1】 15:05～15:55

座長 篠原 徹（近畿大学医学部 小児科学教室）

「川崎病の病因における新たな展望」

和歌山県立医科大学 小児科 鈴木啓之 先生

コーヒープレイク 15:55～16:15

事務局報告 16:15～16:20

運営委員長 濱岡 建城（京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科）

近畿川崎病研究会学術活動報告 16:20～16:40

座長 濱岡 建城（京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科）

13. 川崎病による巨大瘤をもつ患者の予後調査

近畿川崎病研究会 長期予後調査小委員会

津田悦子 吉林宗夫 篠原 徹 濱岡 建城

14. 急性期川崎病カード使用状況調査

近畿川崎病研究会 急性期カード普及調査小委員会

篠原 徹 荻野廣太郎 濱岡建城

セッションⅣ（巨大冠動脈瘤） 16:40～17:20

座長 村上 洋介（大阪市立総合医療センター 小児循環器内科）

15. 当院で経過観察中の川崎病巨大冠動脈瘤合併例の検討

和歌山県立医科大学 小児科

末永智浩 鈴木啓之 武内 崇 吉川徳茂

社会保険紀南病院 小児科

渋田昌一

橋本市民病院 小児科

垣本信幸

16. 当院における巨大冠動脈瘤合併例の臨床的検討

兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科

山内 淳 佃 和弥 坂崎尚徳

17. 川崎病冠動脈障害に対する3枝バイパス術後24年経過しSVG内血栓により後下壁梗塞を発症した1例

国立循環器病研究センター 小児循環器科

藤本一途 津田悦子 黒寄健一 白石 公

国立循環器病研究センター 心臓血管外科

北村惣一郎

宇治徳洲会病院 心臓血管内科

舛田一哲

18. 巨大冠動脈瘤血栓閉塞による急性右室梗塞に対しPCIを施行した川崎病の1例

近畿大学医学部奈良病院 小児科

石原温子

セッションV（急性期治療） 17:20～18:10

座長 片山 博視（大阪府済生会吹田病院 小児科）

19. 当院における過去4年間192例での検討

－血漿交換療法を含めた急性期治療プロトコールの提言－

兵庫県立塚口病院 小児集中治療科

高原賢守 竹下佳宏 中條悟

20. 川崎病グロブリン不応例に対する血漿交換療法

名古屋第二赤十字病院 小児科

岩佐充二 横山岳彦

21. シクロスポリンが奏効した難治性川崎病の1例

鳥取大学医学部附属病院 小児科

田本直弘 神崎 晋

鳥取県立中央病院 小児科

後藤 保 細田千佳 大野光洋 田村明子 宇都宮靖

常井幹生 星加忠孝

鳥取市立病院 小児科

岡本 賢 木下朋絵

22. 当院における川崎病に対するウリナスタチン大量療法8年間の成績

神鋼加古川病院 小児科

井上真太郎 佐々木香織 谷中好子 三舛信一郎 吉田 茂

23. 当院における学童期川崎病の特徴

大阪市立総合医療センター 小児救急科

天羽清子 奥野英雄 久保和毅 外川正生 塩見正司

大阪市立総合医療センター 小児循環器科

平野恭悠 中治倫子 小澤有希 鈴木嗣敏 江原英治

中村好秀 村上洋介

【特別講演 2】 18:10～19:00

座長 坂崎 尚徳（兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科）

「川崎病における最新の治療戦略」

国立成育医療研究センター病院 循環器科 賀藤 均 先生

閉会の挨拶 19:00～19:10

第 35 回会長 坂崎 尚徳（兵庫県立尼崎病院 小児循環器科）

第 36 回会長 寺口 正之（中野こども病院）

帝人ファーマ株式会社

1. 名称

近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。

2. 目的

川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。

3. 事業

- 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。
- 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
- 3) 本事業は、帝人ファーマ株式会社との共催とする。

4. 運営委員会

- 1) 本会に次の役員を置く。

①運営委員長	1名
②運営委員	若干名
③会計	1名
④監事	1名
⑤顧問	
⑥名誉会員	
- 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
- 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任をさまたげない。
- 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
- 5) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
- 6) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
- 7) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
- 8) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
- 9) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
- 10) 名誉会員は運営委員長が運営委員会にはかり、推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
- 11) 顧問は運営委員長が運営委員会にはかり名誉会員の中から会の運営上必要と認めた者とし、運営委員会に出席できる。

5. 会員

- 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
- 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。

6. 学術集会の発表者の制限

学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。

7. 会計

- 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
- 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。
継続して学術集会に参加の意思がなく、本会の会員登録を希望しない場合は参加費（1,000円/人）のみの学術集会への参加を認める。
- 3) 名誉会員および顧問は年会費を要しない。

8. 会則の変更

本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。

9. 事務局

本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。

京都府立医科大学 小児疾患研究施設内科部門
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上ル梶井町 465